

3. 平 板 測 量

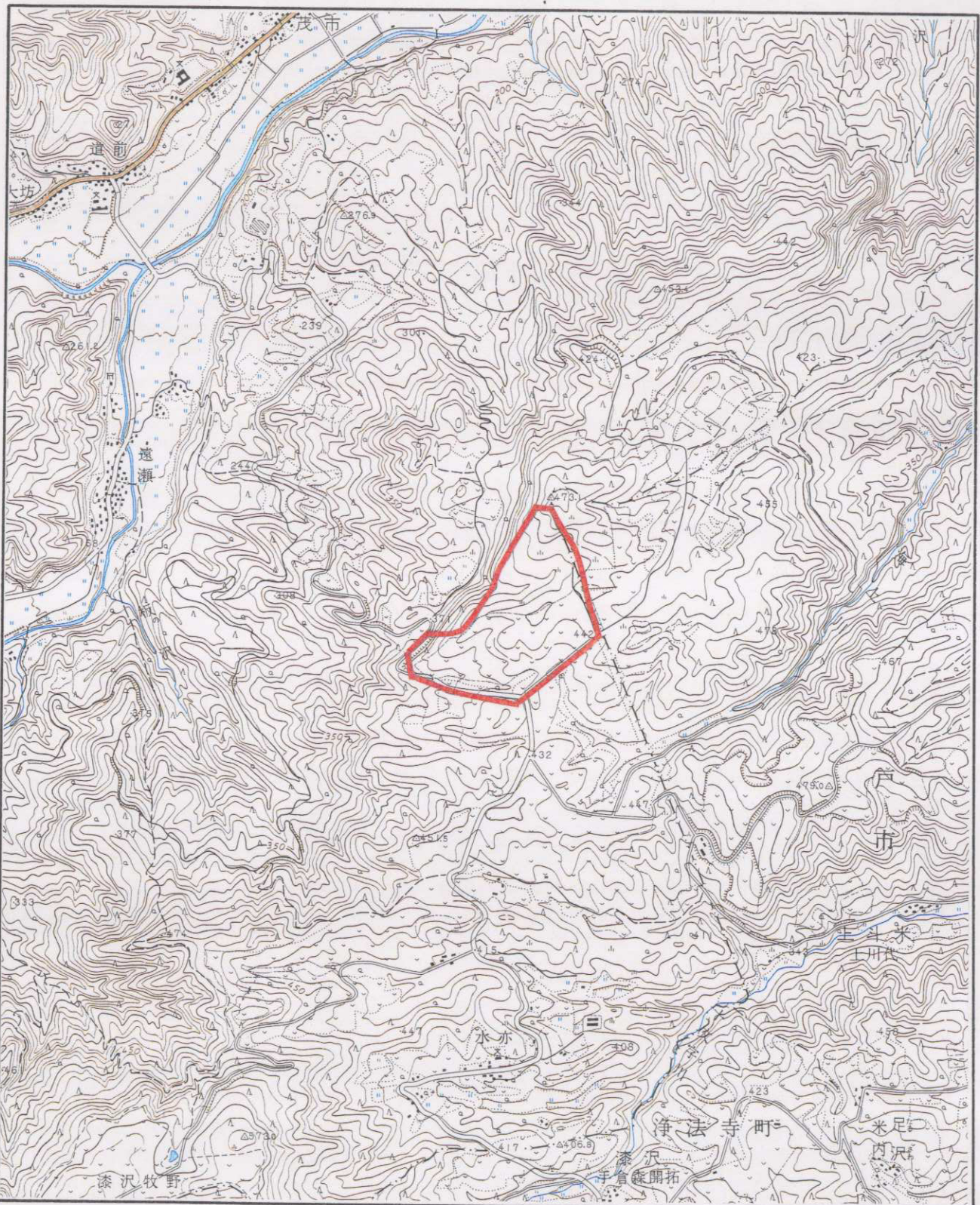
3. 平板測量

平板測量は、図3-1に示す範囲について行い、縮尺1/500として取りまとめ、これを元図として、縮尺1/1,000の図面も作成した。水準点は和平山にある四等三角点(H=473.06m)を使用した。これら測量結果は、付図-1～付図-6に示す。

なお、平板測量と併せて、事業場内に40mメッシュを設定して格子点に標点(木杭)を置き、表層ガス調査などに供した。

また、平板測量結果と既存の地形図(「森林基本図(昭和42年 青森県測図縮尺1/5,000)」)を用いて図3-2に示す4測線の断面図を作成し、事業場内の原地形と現況地形を比較した。断面図の縮尺は1/2,000である。

作成した断面図を図3-3(1)～図3-3(2)に示す。断面図には、現況地形線と原地形線との高低差が成す断面積を併記しているが、その値を用いて地形の改変量を推計すれば約40万 m^3 となる(計算結果を巻末に示す)。




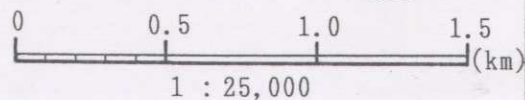
凡 例	
記号	名 称
	測量範囲

図 3 - 1 測量範囲図



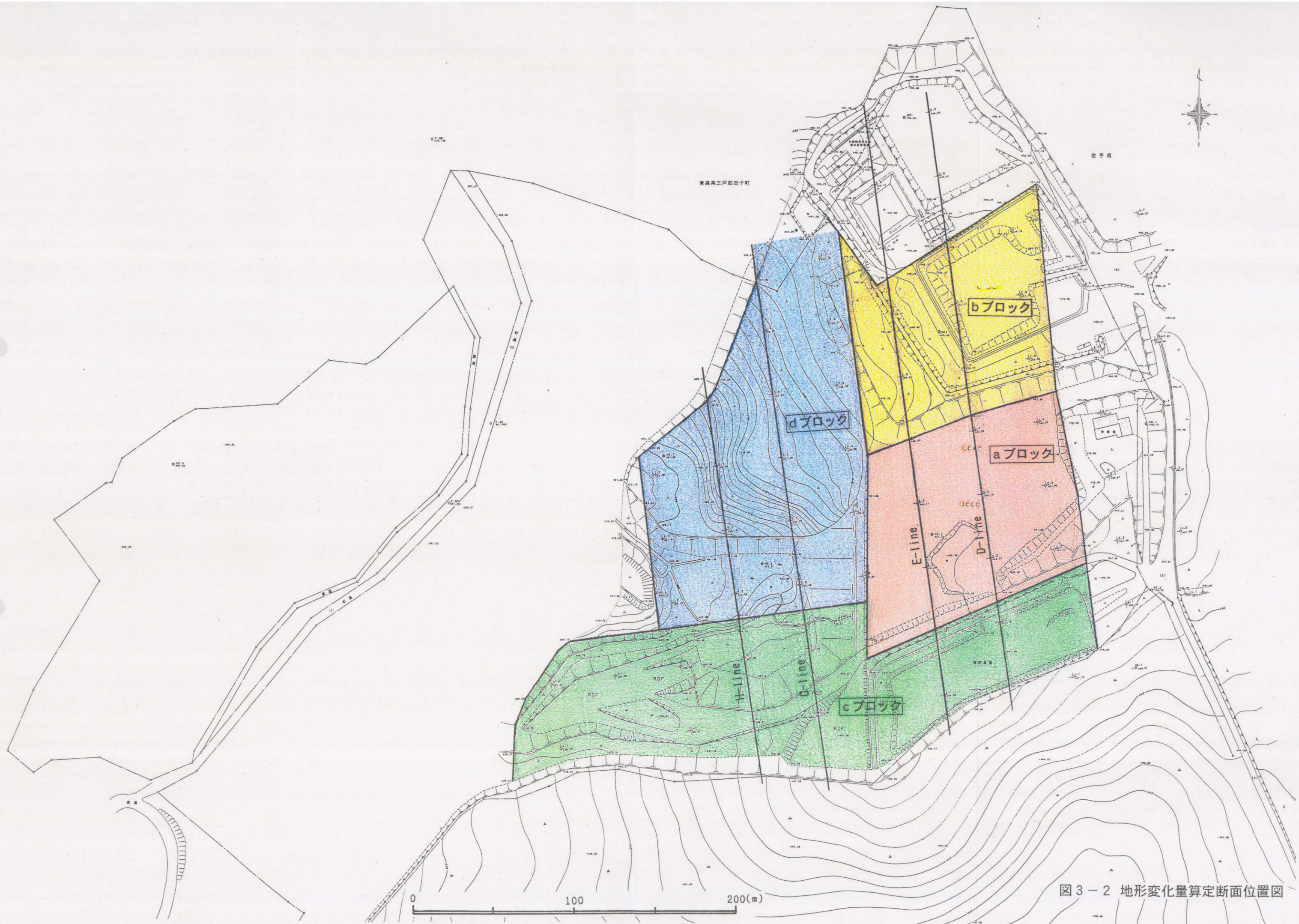


図3-2 地形変化量算定断面位置図

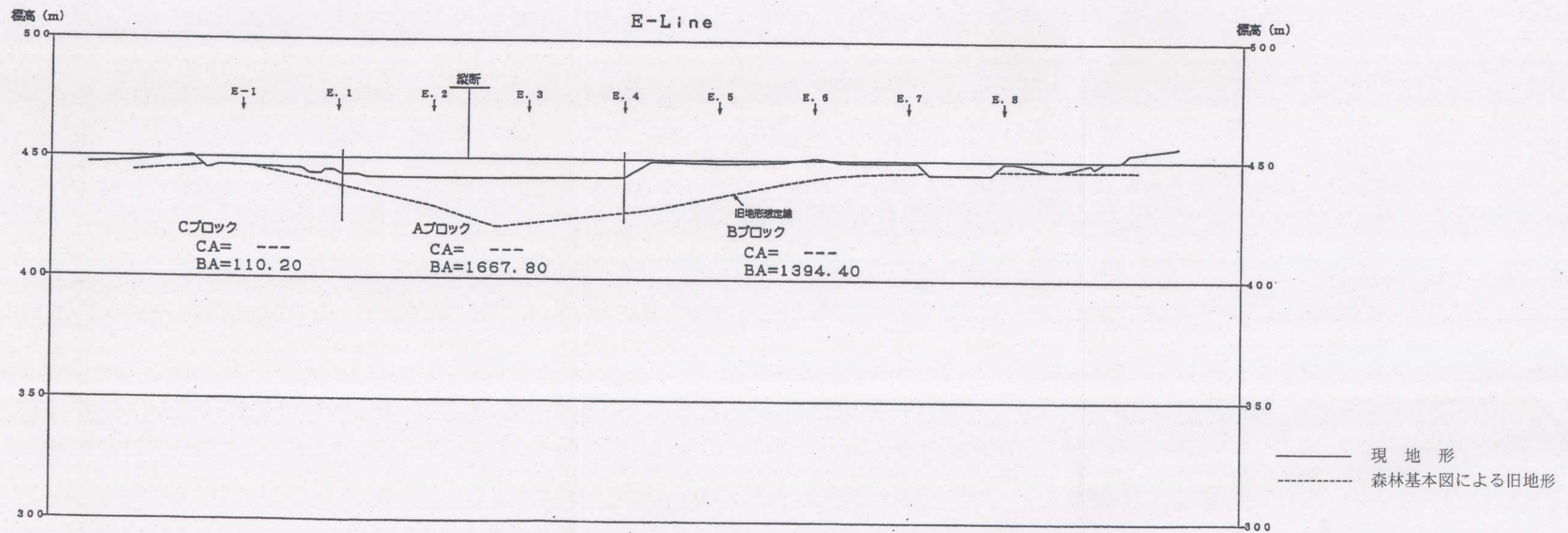
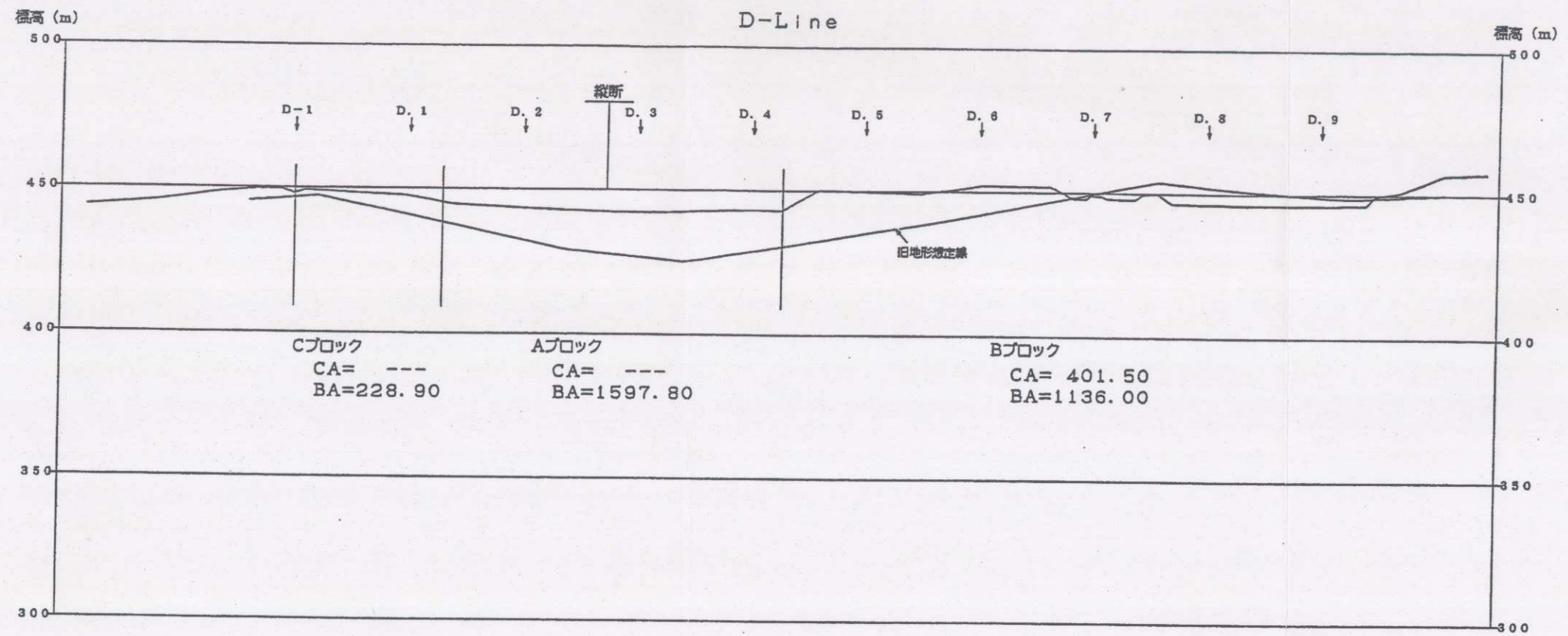
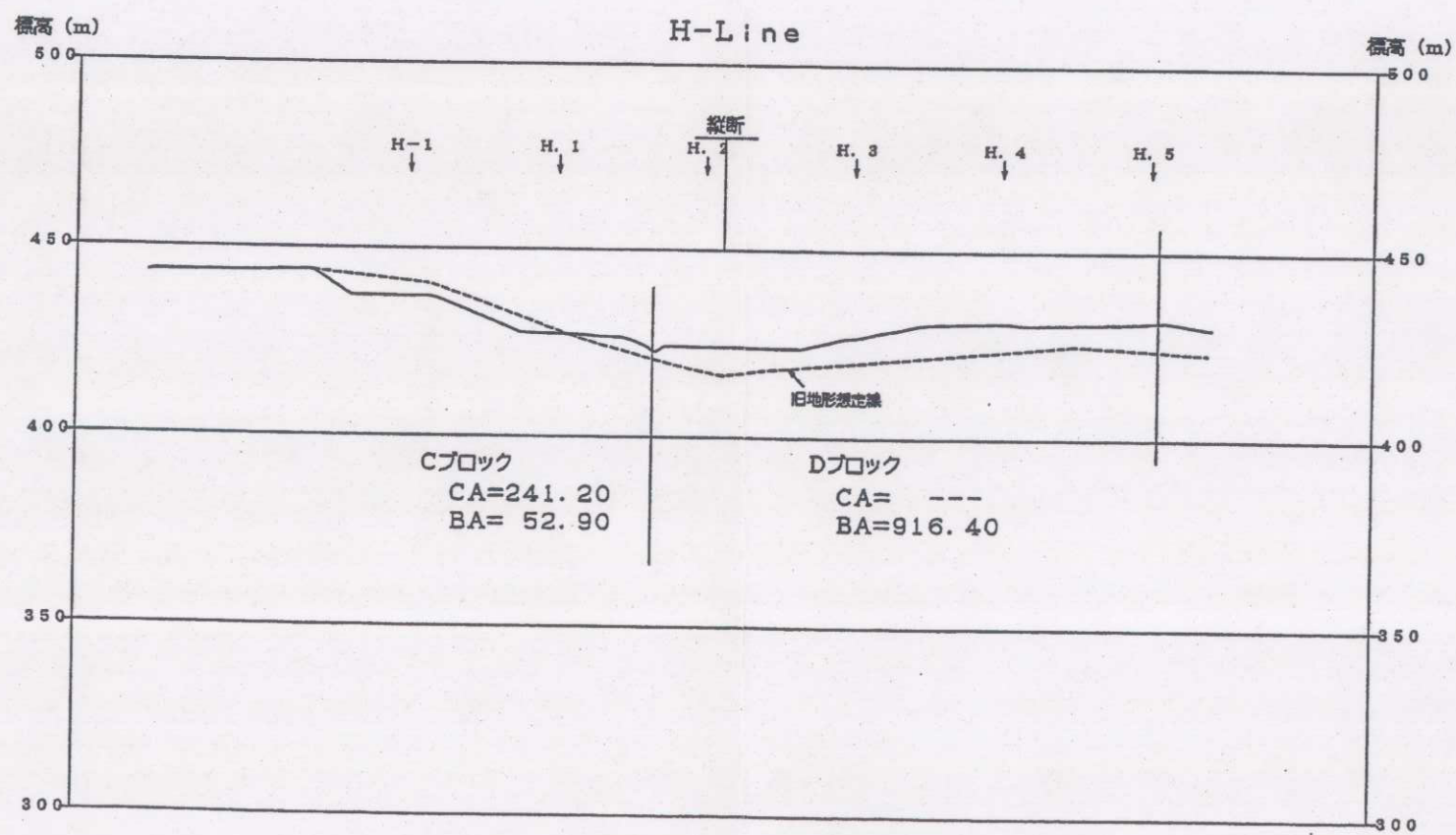
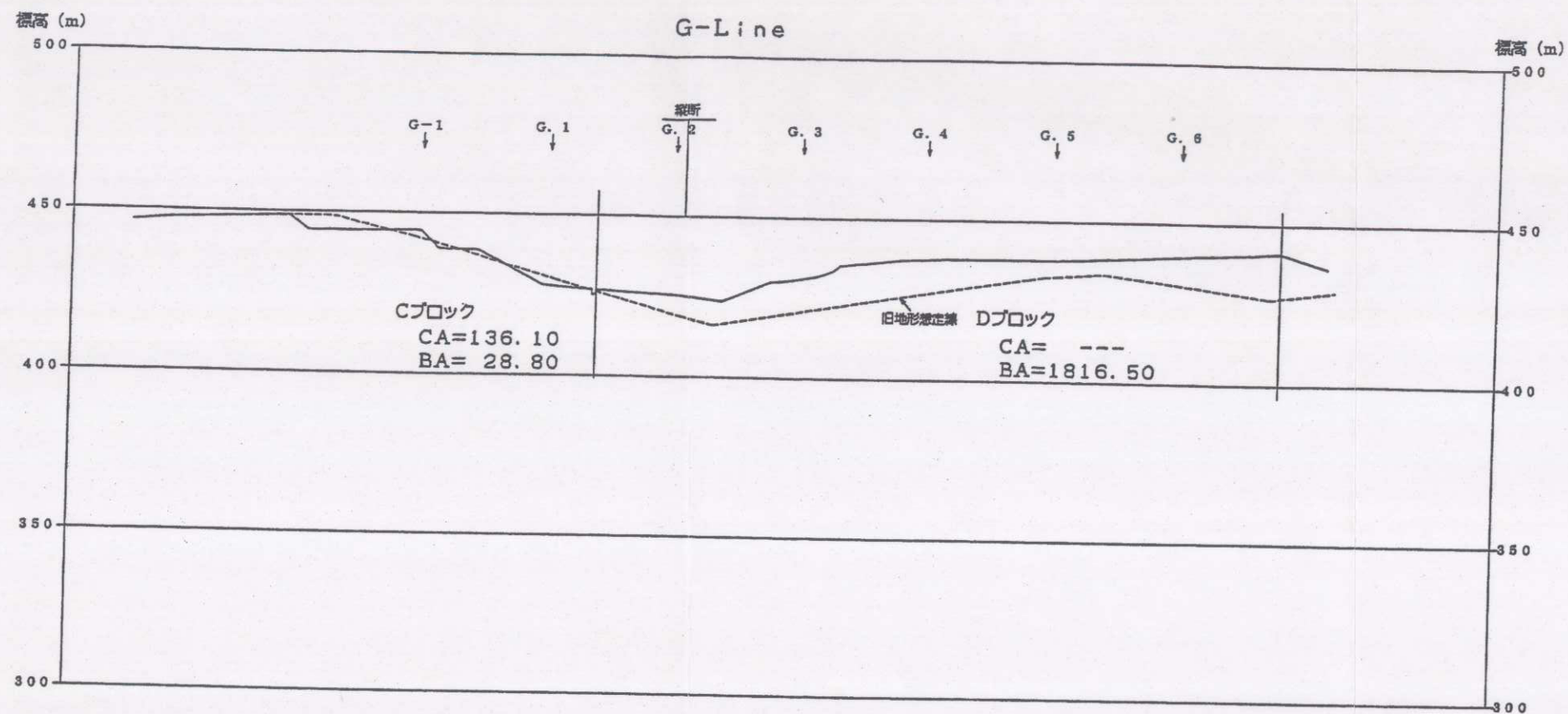


図3-3(1) 平面測量結果と森林基本図による地形の比較(1)



—— 現地形
 - - - - 森林基本図による旧地形

図3-3(2) 平面測量結果と森林基本図による地形の比較(2)